心理学研究の実践Ⅰ

科目ナンバリング　PSY-101
選択必修　　2単位

茂垣　まどか

1. 授業の概要（ねらい）

本授業でははじめに，実際に行われた心理学研究を紹介する。研究者たちにはどのような問題意識があり，その探求にどのような手法が用いられ，どのような結果が得られ，それらがどのように考察され結論づけられるか，という一連の研究の流れを解説する。その後より専門的な講義やグループワークを通して，心理学的な物の考え方の基礎を身につけることが目的である。

2. 授業の到達目標

心理学研究法の基礎を身につける。
心理学研究の結果をデータから正確に読み取ることができる。
研究者の視点で，身の回りの問題について考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加度30%，中間課題30%，期末レポート40%で総合的に評価する。
“授業への参加度”とは，毎回の授業時に課される小レポートや確認問題への解答をすることであり，社会的状況が整いグループワーク等が実施された場合は，その作業シートなどが含まれる。中間課題は最終レポートに向けた中間報告（複数回）であり，到達度について，授業内で教員が全体的に解説する。

4. 教科書・参考文献

教科書
浦上昌則・脇田貴文　『心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 改訂版』　東京図書

5. 準備学修の内容

予習：事前に指定・選択した論文や，教科書の一部を読んでレポートを提出する必要がある。各回で何をすべきかは授業内で指示する。
予習・復習：授業時間外で調査にまつわる作業やそのためのグループワークを行う必要がある。
授業で配布した資料，ノートなどを読んで復習すること。

6. その他履修上の注意事項

第1回イントロダクションに必ず出席し，この授業の進め方をよく理解したうえで受講すること。期限内に第1回授業の授業課題をLMS上で提出すること。欠席した場合の不利益が大きいので注意すること。また，この授業は資料配布や課題提出等でLMSを利用するので，使い方を習得しておくこと。
グループ活動を通して作業および意見交換等を実施するため，授業への積極的参加が求められる。
授業計画は，進行状況に応じて調整する場合がある。授業の具体的な方法については，社会的状況を鑑みて変更されることがあるので，授業内での説明をよく聞くこと。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　心理学研究とは
【第3回】　心理学の研究プロセス：仮説生成，データ収集，結果分析と考察
【第4回】　研究の展開：オリジナリティ追求と知見の積み重ね
【第5回】　論文を読み解く手法についての解説
【第6回】　調査結果などを報告する手法についての解説
【第7回】　パーソナリティの記述1：前説・グループワーク
【第8回】　パーソナリティの記述2：発表
【第9回】　パーソナリティの記述3：解説
【第10回】　概念のまとめ（オンデマンド※授業週（全14回）とは別途設定・実施する。期日等詳細は授業内で発表する）
【第11回】　無意識へのアプローチ1：前説・グループワーク
【第12回】　無意識へのアプローチ2：発表
【第13回】　無意識へのアプローチ3：解説
【第14回】　行動，態度，意識，無意識を読み解く
【第15回】　前期の総合解説